

令和6年度当初予算は、一般会計が390億5,000万円、特別会計が181億6,900万円です。一般会計は、青山7丁目における交流拠点施設や消防署吉川分署の整備、定額減税の補足給付金の支給などの費用で、前年度に比べて35億3,000万円(9.9%)増加し、過去最大です。

4〜7ページで令和6年度の「5つの柱と主な事業」を紹介します。

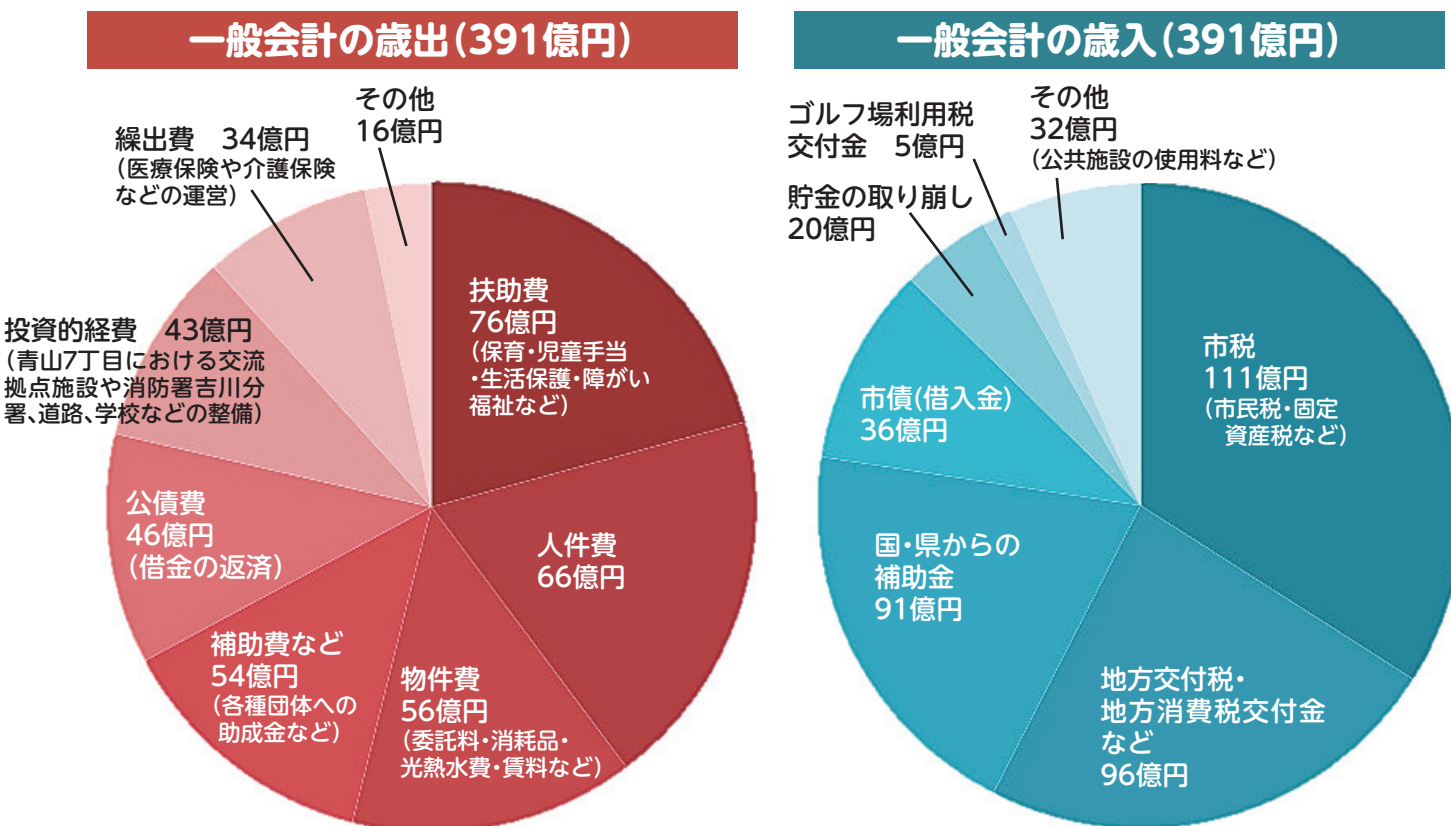
予算の概要

令和6年度は、第一に教育のまちの推進。加えて、優れた地域資源(三木ブランド)の魅力向上、移住・定住の促進、将来にわたり市民が安心して暮らせるまちづくり、そして最後に、将来にわたり持続可能な行政運営の基盤づくりを進めていきます。

令和6年度予算の規模

区分	令和6年度当初予算(A)	令和5年度当初予算(B)	対前年度比		
			増減額(C)(A-B)	増減率(C/B)	
一般会計	390億5,000万円	355億2,000万円	35億3,000万円	9.9%	
特別会計	国民健康保険	82億9,900万円	△3億6,800万円	△4.2%	
	介護保険	78億4,700万円	3億1,500万円	4.2%	
	後期高齢者医療事業	17億2,300万円	15億9,100万円	1億3,200万円	8.3%
	学校給食事業	3億円	3億円	0円	0.0%

予算の内訳(一般会計)



令和6年度
施政方針と予算の概要

問・(市)企画政策課
・(市)財政課

誇りを持って暮らせるまち三木
～次代への進化、そして未来へ～



施政方針

2月22日に第379回三木市議会定例会を開催し、仲田一彦市長が令和6年度施政方針を発表しました。その中から重要な取組などについてお伝えします。

市制施行70周年

本年7月1日に市制施行70周年を迎えるにあたり、全市を挙げて

祝い、市民一人一人が、まちの魅力に包まれ、安心して暮らすことに誇りを持ち、まちを愛する心をさらに深める機会とするため、三木の祭り屋台大集合などさまざまな記念事業を実施します。

物価高騰対策

物価高騰が長期化する中、市民や事業者の暮らしを守るため、市内の小・中・特別支援学校の学校給食費について物価高騰分を助成するほか、市内店舗で利用できるプレミアム付き商品券事業に対して助成するなど、市民生活を支援します。

SDGsと脱炭素社会の推進

国を挙げて脱炭素社会への取組が進められている中、市民や事業者を含めた市全体の温室効果ガス排出量の削減に向けた「地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の策定や省エネルギー製品の利用促進事業の推進など、温室効果ガス削減の一層の推進に取り組みます。また、SDGsの基本的な視点である「誰一人取り残さない社会」

という観点のもと、本年4月からパートナーシップ制度を導入し、誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らせる環境づくりを進めます。

デジタル化の推進

市役所の手続きについて申請から手数料の決済までオンラインでできる「行かなくていい市役所」をめざします。さらに、全ての市立公民館にWi-Fi環境を整備し、公民館を地域のデジタル化の拠点とするなど、誰一人取り残さないデジタル化を推進します。

次代への進化、そして未来へ

市民の意識やニーズが多様化する中、20年、30年先の未来を見据え、将来にわたりまちの活力を保ち続けるため、時代の変化に即応する市政運営が重要です。今年、市制施行70周年という節目の年です。先人たちが築いてきた三木市を、時代に合うように進化させ、将来にわたって住み続けられる三木市を実現できるように、取組を進めます。

【ゴルフ】ゴルフを核にしたまちづくりの推進

- ・全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会、スナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会を開催
- ・ゴルフに親しみを持ち、ゴルフを身近に感じられる環境づくりの推進(ゴルフ場体験、デジタルスタンプラリー、ゴルフ教室、スナッグゴルフ大会の実施など)

【7,394万円】



【酒米 山田錦】山田錦の郷 道の駅化する

- ・酒米山田錦のPR(金物まつりに合わせた山田錦の振興イベントの開催など) 【400万円】
- ・「山田錦の郷活性化構想」に基づく山田錦の郷の整備(山田錦の館の改修や市道の整備、道の駅よかわの看板設置など) 【4億4,000万円】



3 移住・定住の促進

移住・定住を促進し、未来に向けて人口減少を緩やかにするための取組を進めます。

「トカイナカ三木」での新生活を応援

- ・住宅の購入や賃貸、引っ越し、リフォームなどの費用を最大100万円補助する「結婚新生活支援事業」を「トカイナカ三木新生活応援事業」としてさらに拡充(転入時に住宅を購入される場合、婚姻要件(5年以内)を撤廃し、ひとり親家庭を対象に追加) 【2,830万円】
- ・移住を検討している方が知りたい情報や市の魅力を詰め込んだ「移住応援サイト」を構築 【110万円】



全国初! まちの活力を保ち続ける仕組みづくり

全国的な戸建住宅団地が抱える高齢化や空き家などのさまざまな課題を解決するため、先進技術などを活用し、将来にわたりまちの活力を保ち続ける仕組みづくりをめざす「青山7丁目団地再耕プロジェクト」を推進し、公募により選定した事業者と連携し、交流拠点施設を整備

【10億円】



イメージ

5つの柱と主な事業

1 教育のまちの推進

我が子の教育は三木市で受けさせたいと思ってもらえる魅力ある学校づくりや教育環境の充実など教育のまちの推進に取り組みます。

質の高い教育の実現

- ・統合型校務支援システムを導入し、教職員の働き方を改善することで、子どもたちと向き合う時間をさらに充実 【5,860万円】
- ・スクール・サポート・スタッフを増員し、教職員が教材研究などに注力できる体制を整備 【460万円】
- ・教職員の資質・能力の向上のため、オンラインで研修を受講できる「学習プラットフォームアプリ」を導入し、より効率的な研修の機会を提供 【740万円】



学校給食費の支援

物価高騰が長期化する中、令和6年度の市内の小・中学校、特別支援学校の給食費を改定前の令和5年度と同額に据え置くため、その差額を市が負担し、保護者の経済的な負担を軽減

【3,636万円】



中学生の地域クラブ活動にゴルフ部を創設

中学校の部活動の地域クラブへの移行を見据え、地域資源を活かしたゴルフ部の令和7年度創設に向けた取組を推進

【20万円】



2 地域資源(三木ブランド)の魅力向上

全国的に評価が高い地域資源「三木金物」、「酒米山田錦」、「ゴルフ」を世界に発信し、更なる三木ブランドの魅力向上により、地域の活性化を図ります。

【三木金物】万博を視野に三木金物などのPR促進

- ・三木金物商工協同組合連合会が実施する海外展示会への出展を支援 【360万円】
- ・大阪・関西万博における金物鷲の展示に向けた取組を推進 【265万円】



5 持続可能な行政運営

20年、30年先の未来を見据え、将来にわたり、まちの活力を保ち続けるため、持続可能な財政基盤を確立します。



市の財政健全化の取組

将来のまちづくりに必要となる新たな施策を推進しながら、財政収支の均衡を図っていくため、自主財源の確保とともに事業の見直しを行い、持続可能な財政基盤を確立

公共施設再配置

・将来の人口規模や市民のニーズに合った公共施設の適正規模・適正配置の推進
・「中央公民館等複合施設」の整備に向けた基本計画の策定 【2,365万円】

市制施行70周年記念事業の実施

令和6年7月1日に市制施行70周年を迎えるに当たり、全市をあげて祝うとともに、チーム三木(市民・議会・企業・団体・行政)の力を結集して記念事業に取り組むことで、「誇りを持って暮らせるまち三木」の実現につなげます。



三木の祭り屋台大集合 【3,600万円】

市内の「祭り屋台」が一堂に集い、総練りの披露、屋台体験イベントなどを実施

開催日 10月26日(土)

場所 三木山総合公園 陸上競技場



地域まちづくり交付金 【100万円(拡充)】

各地区の市民協議会が実施する市制施行70周年事業を支援
各地区10万円×10地区



市制施行70周年記念式典 【573万円】

市政功労者表彰、若者が10年後の未来を描く「三木若者シンポジウム」を開催

開催日 7月7日(日)

場所 文化会館

タイムカプセル郵便 【25万円】

子育て世代の親子が絆を深めるため、10年後に思いを届けるタイムカプセル郵便を募集



4月から市役所の組織を一部変更しました

- ・生活環境課を廃止し、「環境政策課(次期ごみ処理施設の整備や地球温暖化対策など)」と「生活安全課(空き家対策、交通安全、防犯、消費生活相談など)」を設置(市役所2階)
- ・都市政策課に「まちづくり係」を設置(市役所2階)

4 安心して暮らせるまちづくり

子育てしやすい環境づくりや健康寿命の延伸などに取り組み、誰もが生涯にわたって安心して暮らせるまちづくりを進めます。

0～18歳の医療費完全無償化

令和6年7月から、高校生世代の医療費助成の無償範囲(保険診療分)を入院に加えて、通院まで拡充し、0～18歳の医療費完全無償化へ
【3億6,562万円(うち今回拡充分4,158万円)】



市内全ての公民館にWi-Fi環境を整備

全市立公民館にWi-Fi環境を整備することで、オンラインが進む行政手続きの支援など、身近な公民館で必要な手続きができる環境を整備。あわせて、高齢者のスマホ教室などを開催し、インターネットやパソコンなどを使えない人が必要な情報を得られるよう支援
【940万円】



健康づくりを応援

- ・生活習慣病の重症化予防やフレイル予防対策に取り組む「みつきい☆シニア健康サポート事業」を実施。事業2年目の吉川・口吉川・細川地区では、要介護となる原因が多い骨折予防のための「いきいきコース」を新設。また、新たに事業を開始する志染・緑が丘・自由が丘・青山地区では、口腔機能と栄養に重点を置いた「にこにこコース」を実施 【2,168万円】
- ・健康チャレンジプログラムとしてメタボリックシンドロームや高血圧などの生活習慣病の発症、重症化の予防を目的とした「ヘルスアップコース」とフレイル・転倒による骨折予防を目的とした「シニアいきいきプラスコース」を実施 【441万円】



省エネ家電への買い替えを促進

電気料金の負担を軽減し、温室効果ガスの削減を図るため、エアコン、テレビ、冷蔵庫を省エネ性能の高い製品へ買い替える費用を補助
【1,000万円】



消防署吉川分署の移転、建替え

令和7年度からの運用開始に向けて消防署吉川分署を移転、建替え。感染症対策のための仮眠室の個室化や非常用発電機の新設、消防団機動隊詰所の併設などにより施設機能を充実させ、地域の防災力向上を推進
【4億6,980万円】

